

さんわ（話・和・輪）会の流れ

1. 日程の確認・調整（電話等で結構です）
2. 申請書の提出（2週間前までにご提出をお願いします）
3. 助成金の確定（開催3日前までに参加者人数を社協82-6309までご連絡ください）

4. 備品の整備

I. 自治会等主催者でご用意いただくもの

- ①炊飯用のお米（一人につき約1合）
- ②試食用のおかず及び食器（カレー、漬け物、レトルト食品等）
- ③集会所等場所の確保（雨天に対応できる場所が助かります）

II. 社会福祉協議会で準備するもの

- ①炊飯器（炊飯袋、ガス含む）
- ②助成金（参加人数×300円）
- ③支え愛マップを含む説明資料
- ④PC、プロジェクタ等

5. 講習会当日の流れ（1時間30分）

趣旨説明（5分） ⇒当日の流れ等について

1. 非常食体験（25分） ⇒移動式炊飯器とハイゼックス炊飯袋を用いた非常食炊飯。
洗米を袋詰めするところまでを体験いただきます。

炊きあがりまで40～60分かかる間に以下の講習を行います。

2. 支え愛マップ（30分） ⇒地域の地図を囲み、要援護者、地域の良いところ、課題等
を書き込み助け合いを可視化します。ご近所福祉の再発掘
とご近所だけでは解決できない課題の地域での解決策を探
ります。あわせて自主防災マップの作成も行います。

3. 高齢者疑似体験（30分） ⇒高齢者疑似体験セットを着用し、日頃の生活や災害時にど
ういう不便があるのかを地域の実情に応じて理解します。

4. 防災講話（30分） ⇒災害の状況や防災についてスライドを用いてお話しします。
自身（自助）、家族・近所（互助）、地域（共助）の備えに
ついて理解を深めます。

5. 避難シミュレーション（30分） ⇒実際の災害時にどれだけ避難行動が困難かを体験します。
「自分のいのちを守ること」と「助け合い」と矛盾する選
択を迫られることを体験を通じて考えてもらいます。

6. ～8. の赤十字講習会は1～2時間程度お時間をいただくようになります。

※1. ～5. の必須講習のうち1. と2. は必須です。3. ～5. の中から一つを選択して下さい。

※6. ～8. の選択講習「赤十字講習会」希望の場合、講師派遣依頼の都合上1か月前の申込
をお願いします。なお、日赤の都合によりご希望に添えない場合もありますがご了承ください。